

行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回 答	担当部課
大原	大原	岡山県議会議員選挙において、市長が特定の候補者の応援で前に出るのはおかしいのではないか。	県議会議員に対して、いろいろな思いを市民、あるいは市当局として期待するのは当然で、考え方に違いも当然だと思います。今の県議会議員と反目しているわけではありません。仕事の依頼や協議もしています。	総務部
大原	大原	職員が再雇用されているが、おかしいのではないか。	再雇用については、全国的に行われている制度で、法律的におかしいところはありません。妥当性は個々の人の評価だと思いますが、欠点もあれば長所もあります。現場のニーズ次第で、今後も実施いたします。任用の根拠は、地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づく美作市一般職の任期付職員の採用に関する条例の規定によるもので、高度な専門的知識と実務経験、そして、優れた識見を組織運営と職員の育成に一定期間活用することが、公務の能率的運営を確保するために必要と判断したためです。	総務部
大原	大原	空き家対策で若い人に住宅をあっせんするにしても最低限のインフラが必要。対策をお願いしたい。	空き家の問題は、個人の所有権があるので行政が手を出すのは難しいところもあります。総合戦略の中に、小さな拠点づくりの推進を挙げていますので、それぞれの地域にあった事業計画を地域で策定していただき、助成金を出すことも検討しています。 なお、移住定住補助金のメニューの一つとして、空き家の改修に対する補助制度を設けており、空き家情報バンクに登録した住宅を貸すために改修した場合、又は、3親等以内の親族が所有する住宅を継承して改修した場合に、いずれもリフォーム費用の2分の1、上限30万円を補助することとしています。	企画振興部
大原	大原	参考としてお伝えしたい。アメリカから4～5人、合気道の先生が大原に来られた。日本で京都等の観光地を巡ったが、大原が一番良かったと感動していた。山（自然）がすごいと言っていた。一緒に写真を撮った。	ありがたいお話で、アメリカの方と撮った写真で公開できるものがあれば、市のホームページ等で紹介して、ロコミ等資料として活用したいと思いましたが、その後、DVDをお借りして拝見したところ、ご本人のメモリアルとして加工してある写真が多く、市のHPでの公開は遠慮させていただいた。	企画振興部
大原	大原	山の資源、山林をどのように考えるか。	北部は良い人工林が多いが西粟倉村のように管理ができていません。管理すれば立木は建材として利用できます。また、桧のB級のものを韓国や中国に輸出している業者の方もいらっしゃいます。 燃料としての利用も考えられます。愛の村パークで温泉を沸かす燃料に木材を使い、炉が2月末に完成予定です。燃料の木材を地元から調達し、エネルギーとしての利用する。薪ストーブの普及も図り、薪を供給するなど山の資源の活用を進めています。また、大原総合支所にも薪ストーブを設置しています。	経済部
大原	大原	市のボランティアガイドの会は会長を中心に活動しているが、大原の観光案内は2人しかいない。ガイドの養成を、地元もしていかないといけないが、市の手助けをお願いしたい。	地方創生の中でもインバウンド観光について触れていますが、今後海外からの旅行客も増えてきますので、通訳ガイドの養成やパンフレットの英語訳等、具体的にチャレンジしてみたい。また、しっかりしたパンフレットを作ることは、ガイドの養成テキストにもなり、多言語展開を含めて検討していきたい。	経済部

行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答	担当部課
大原	大原	リゾート武蔵の里、愛の村パークの年間収支について、また、今後はどうするのか。	両方とも非常に大きな赤字で、武蔵の里では特にクアガーデン部分の赤字が大きくなっています。専門家の診断で、閉鎖を含めて検討すべきとの提案があり、その結果に基づき、9月末を目途に休止する予定です。愛の村パークは、比較的うまくいくのではないかと指摘は受けています。武蔵の里についても合宿のニーズは増えてきていますが、施設が古い。経営改善が見込めるのであれば、改善も検討していきたい。	経済部
大原	大原	古町の町並み保存について、県事業での整備後に未整備で残ったものは老朽化したままである。水路の石垣から水が流れ込み土台を崩すこともある。修繕するにもお金の問題もあり、また個人の家なので、難しい。町並みを残すために良い知恵をお借りしたい。	平成27年度も観光の事業として町並み保存、大原地域活性化の事業を行っています。また、本気で取り組んでいただけるのなら、文化財保護法で登録することができます。都市計画で町並み保存地区にし、文化庁の認可を受けると改修が可能となります。県内では津山の城東地区、高梁の吹屋地区、倉敷の美観地区などがあります。三宿が連携してひとつの保存地区にするもの方法のひとつとであり、三県境地域創生会議で検討したい。なお、古町の町並み保存地区においては、平成27年度から景観整備事業を実施しており、その事業の中で検討を進めてたい。	経済部
大原	大原	大原宿について、本陣、脇本陣の一般開放をお願いしたい。現在は、私有のため、許可された所のみとなっている。中が見えるようにしてほしい。	大原宿が好評なことは体感として感じています。歴史的価値がある本陣、脇本陣の一般開放については、持ち主との協議になりますが、話を急いで気分を害してもいけないので、ゆっくり注意しながら交渉していくべきと考えています。	経済部
大原	大原	プレミアム商品券について、並んだが、一人当たりの販売枚数が制限されていなかったため、買えた人と買えなかった人がいる。不平等だと思う。次があれば枚数制限をかけるべき。	1人当たり5万円までの制限はありましたが、交通手段の無い方をどうするのか等の意見があり、近所の方でもハガキを預かってもらえれば販売するとの方針で取り組みました。その結果、複数の方のハガキを預かられた方がたくさん来られたため、他の多くの方に購入していただけませんでした。今後の取り組みについては、仮に実施するのであれば、今回のプレミアム商品券の取り組みについて十分検討していきたい。	経済部
大原	大原	都市公園について、市全体が公園のようなものだが、どう考えているのか。	都市公園について、都市計画区域内の公園のことを都市公園といいます。交付税がくるのは区域内の公園のみで、旧美作町にのみ都市計画区域があります。これまで計上漏れで損をしていました。都市公園を整備することで財政改善に資することができます。※回答の内容は行政懇談会開催時点	建設部
大原	大原	下町のほ場整備問題について、11年田んぼを作っていない。議会において、裁判をすればいいと言った。また、地元で懇談会をしてほしいという要望があるのに、懇談会が開かれない。	懇談会を開催しようと関係者に呼びかけましたが、一部の方は会談の席についてもらえない状況でした。根深い問題であります。行政との問題もありますが、地元の中の問題も相当あると思います。まずは地元の方々が仲良くしてほしいと議会でも何度もお願いしています。	建設部

行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回 答	担当部課
大原	大原	下水道の普及率はどのくらいか。普及率が上がれば財政は改善するのか。	下水道の普及率は9割を超えていますが、接続率に改善の余地があります。接続率の増加は収支改善に資するものです。今後人口が減っていくと、益々運営が厳しくなります。吉井川の上流にある県北部の下水道が普及することが、下流域の為になっていることを岡山市等県南部の皆さんに認識してほしい。その意味から環境税の改正について、国に要望しています。平成26年度末で下水道普及率は97.7%、水洗化率86.5%。水洗化率の上昇に伴い公共用水域の水質浄化にもつながり、下水道収入も増加し維持管理費の財源が増えることとなります。	環境部
大原	大原	魅力ある地域づくりのために、地域の歴史・文化を知る必要があり、そのために資料をどう保管していくかが問題になる。個人宅に残されている資料もあり、保管方法等、対策が必要と考える。	市の保管庫の状況調査と台帳化を行っていますが、保管庫が条件を満たしていないため、ハード面の問題が生じています。また、美術系・古文書の専門知識のある学芸員の配置も検討していますが、問題意識はあるものの抜本的な対策にはいたっておらず、2～3年内の検討課題としたいと考えています。	教育委員会